

あらかわ
荒川まさしは
3つの挑戦で、滋賀県をもっと元気にします。

消費税増税中止!
憲法9条改正!
滋賀を未来産業都市に!

比例は 略称:幸福

幸福実現党

野洲市出身

とお書きください

荒川まさし

あらかわ
幸福実現党

荒川まさし

昭和50年5月20日生まれ、野洲市三上出身。福井大学工学部 应用物理学科卒。現在(宗)幸福の科学滋賀本部
巡回支部長。家族は妻と娘が二人、趣味はランニングと水泳と神社仏閣めぐり。

選挙公報

荒川まさし

3つの挑戦で、滋賀県をもっと元気にします。

●大幅減税で、企業・民間の活力UP!
●未来の成長産業に積極投資!
●安全確認できた原発の再稼働で電力を安定供給!

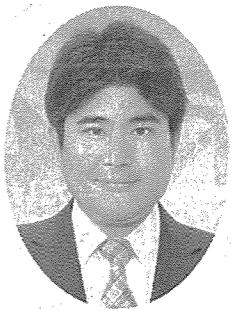
●海兵隊の創設とオスプレイの導入で尖閣を守る!
●憲法9条を改正し、自衛隊を防衛軍に!
●核抑止力の構築で、核の脅威から日本を守る!

●原発の安全性を高め、再稼働します!
●リニア新幹線の早期導入を実現します!
●生涯現役社会を実現します!

挑戦しよう、日本。 幸福実現党

幸福実現党 公式サイト hr-party.jp 荒川まさし 公式ブログ arakawa-masashi.com

荒川まさし
プロフィール



あらかわ
幸福実現党

「共産党」で、今度こそ政治変える

消費税の増税、憲法9条の改悪、TPP参加、原発推進など、暴走する安倍政権と正面対決し抜本対案をしめす日本共産党は、東京都議選で議席を倍増、第三党に躍進。民主党が国民を裏切り、「第三極」も消えてしまったり、極端な右寄り路線で混迷…。「政治を変えたい」の願いは、坪田いくおと日本共産党にお寄せください。



日本共産党

賃上げと雇用ふやし
景気回復

消費税増税は
中止に

大企業の内部留保の一部を活用して、賃上げと雇用にまわせば、国民の所得を増やして景気回復できます。

憲法まもり、
暮らしに生かす

改憲派のねらいは
「9条」なくすこと

「戦力不保持、交戦権否認」を定めた9条はじめ、25条(生存権)、96条など全条項を守りぬき、憲法を生かした政治・外交を。

安倍政権の
暴走にストップ!

日本共産党と
坪田いくおの
『改革提案、

TPP参加
やめよ

国の主権売りわたす
「亡国の道」ノー

TPP参加を撤回させ、日本の農業、国民皆保険制度、食の安全など国民のいのちと暮らしを守ります。

原発
すぐゼロ

再生可能エネルギーの
道を

ずさんな「新規制基準」による再稼働は中止し、全原発を廃炉に。県民のいのちと琵琶湖を原発から守る。

坪
田
いく
お

比例
代表は 日本共産党 とお書き
ください

ブログ好評更新中! 坪田いくお 検索

つぼた いくお ●近江八幡市（旧安土町）生まれ、54歳。彦根東高、滋賀大学教育学部卒。小・中学校の教員を経て党専従に。／現在、党県常任委員、国民運動部長。農事組合法人「サン・燎ファーム」理事。／家族（妻、2女、母）と近江八幡市安土町東老蘇に在住。

ご意見・ご要望は日本共産党滋賀県委員会へ
TEL 077-522-8210 FAX 077-522-8282 E-mail : mirai-21century@bird.ocn.ne.jp

滋賀県議会議員選挙委員会

公
開
選
挙

平成25年7月21日 銅行
参院選挙区議会議員選挙

平成25年7月21日 執行
参議院選挙区選出議員選挙

選挙公報

滋賀県選挙管理委員会

パフォーマンス
派手な政策より



自民党政権の現状
今だけ良くて、明日を考えない
改革逆行の古い政策へ

Uターン禁止!

改革逆行① 消えた年金記録問題
年金記録回復委員会が廃止される!

改革逆行② 新規国債発行額増+公共事業費を増大
日本の借金が大きくふくらむ!

改革逆行③ 一括交付金を廃止
地域が自由に使えない
「ひも付き補助金」復活!

改革逆行④ 農業者戸別所得補償制度の廃止検討
農業・農村の再生を断ち切る!

改革逆行⑤ 少人数学級の推進を凍結
35人以下学級の実現を断念!

改革逆行⑥ 公立高校授業料無償化を見直し
所得制限の導入で、
全ての子どもが対象にならなくなる!

暮らしを守る力になる

明日への
責任 今日の
安心



1 地に足をつけた経済政策を

- 滋賀の強みと力を活かした成長戦略を実行する。
例えば、太陽光パネル設置促進、省エネ住宅・スマートタウンの普及、医工連携ものづくり特区創設、水ビジネスの海外展開、観光、農林漁業の6次産業化。

2 安定した暮らしを実現する

- 将来にわたって安心できる社会保障制度の再構築を行う。
- 世界に誇る国民皆保険制度をゆるがす混合診療の解禁に反対。
- 「解雇の金銭解決」や「限定正社員」に反対。

3 2030年代に
原発ゼロの社会をめざす

- 原発立地隣接県・滋賀として、
原発防災の新たな仕組みを主導する。

託すなら、滋賀の人

熱い決意、伝えます!

滋賀とくなが

4 子どもの育ちと学びを
社会が支える

- 少人数学級の推進、所得制限のない高校授業料無償化制度の継続、給付型奨学金の創設。
- 大津市を教訓とした「いじめ対策推進基本法」で、滋賀県から家庭・学校・地域社会が一体となった体制づくりに取り組む。

5 国家の自立を守り、
アジアに繁栄の秩序をつくる

- 外務大臣政務官としての経験と海外とのパイプを活かす。
- 離島を含む領土・領海の防衛に総力をあげて取り組む。
- TPPについては、コメなどの農林水産物主要品目の除外、食の安全の確保、国民皆保険制度の堅持、自動車などの工業製品や知的財産分野などのメリットなど、国益の確保が絶対条件。

6 琵琶湖を再生する

- 国が全面的に支援する新たな仕組みの構築を定めた
「琵琶湖総合保全法」の成立をめざす。

近江八幡出身 1963年生まれ

- 近江八幡市立金田小学校
- 近江兄弟社中学校
- 県立彦根東高等学校
- 早稲田大学政治経済学部
- 滋賀県議会議員(2期)
- 参議院議員(現職)

民主党公認
社会民主党滋賀県連合推薦
参議院議員・元外務大臣政務官
連合滋賀推薦

とくなか
久志

自民党認 二ノ湯の決意 二たけし

今の日本には、長引く不況、少子化による人口減少、高齢化による社会保障費の増大など、待ったなしの課題が山積しています。昨年の総選挙で自民党が政権を取り戻しましたが、衆議院と参議院のねじれ国会により「決められない政治」が続いております。今回の参議院議員選挙は、日本の政治を変える大きなチャンスです。

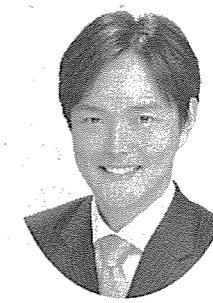
私たちの子どもや孫の世代に、この豊かで安全な日本の社会を引き継いでいくためには、二ノ湯たけしは全力を尽くします。皆さんと一緒に、日本の政治を前に進めさせてください。

●プロフィール／1977年生まれ。京都大学経済学部卒。松下政経塾第21期生。(財)稻盛財団イナモリ・フェロー第1期生。自民党滋賀県参議院選挙区候補者公募にて、支部長に選出。36歳・2児の子育て奮闘中。

滋賀から日本再生



二ノ湯たけし・6つの基本政策



自民党公認 36歳 二ノ湯たけし

成長を続けるアジア・太平洋市場を開拓し、設備投資や研究開発などへの減税を進めることで、デフレ不況からの脱却に全力で取り組みます。製造業の盛んな滋賀県の立地条件を高めるため、道路インフラの一層の整備を進め地域の雇用を確保します。

① 実感のある景気回復

責任ある政権与党として、社会保障の受益と負担のバランスを持続可能なものにしなければなりません。予防医療に入れるなど、国民全体で知恵を出しあって、高齢者の方々が安心の出来る社会保障制度を作つてまいります。

② 持続可能な社会保障

この人口減少社会にあって、教育こそが、国力を高めるためにもっとも必要です。かつて世界のトップであった、日本の子どもたちの学力を取り戻します。また、子どもたち一人ひとりの長所を活かせる、日本版マイスター制度の設計にも取り組みます。

③ 教育再生を断行

私は五歳と一歳、二人の子どもを持つ父親です。子育て現役世代の代表として、若者の雇用確保、教育費負担の軽減、待機児童の解消、不妊治療の補助拡充などに取り組み、一人でも多くの子どもの笑顔が見られる、そんな社会を全力で作ります。

④ 総合的な少子化対策

長い歴史や豊かな風土に育まれた滋賀県の資産を戦略的にブランド化し、世界に通じる近江ブランドを構築します。母なる琵琶湖をはじめとする滋賀県の豊かな自然や、農林水産業を次世代に継承していくために「琵琶湖再生法」の成立に尽力します。

⑤ 近江ブランドと琵琶湖再生法

日米同盟を基軸としつつ、タブーなき安全保障の議論や防衛力の強化により、自立した戦略的な外交を展開します。日本の対外的なイメージの向上、国際的地位の向上を図るために、国際人材を育成し、対外的な発信機能を強化します。

⑥ 国民の生命と国益を守る戦略外交

私たちの子どもや孫の世代に、この豊かで安全な日本の社会を引き継いでいくためには、二ノ湯たけしは全力を尽くします。皆さんと一緒に、日本の政治を前に進めさせてください。

Twitter: [@ninoyutakeshi](https://twitter.com/ninoyutakeshi) Facebook: [ニノ湯たけし](https://www.facebook.com/ninoyutakeshi) WEB: [ニノ湯たけし](http://www.ninoyutakeshi.jp) 検索: www.ninoyutakeshi.jp

滋賀県議会議員選挙委員会

平成25年7月21日 銃行
参議院議員選挙出選候補者

二ノ湯
たけし

This image shows a political campaign newspaper from the 2010 Japanese Upper House election. The layout includes several columns of text, logos for political parties like the Democratic Party of Japan, and illustrations of candidates. The main headline is '選挙公報' (Election Gazette) at the top right. Other prominent text includes 'MamaFesta' and '未来への実現力' (Realization Power for the Future). The newspaper is filled with political promises and portraits of candidates.